



ルーテル学院大学 後援会News

日本ルーテル神学校

—あなたの祈りを届けよう—

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-20 TEL:0422-31-4611 FAX:0422-33-6405 URL: <https://www.luther.ac.jp/college/donation/>

no. 159 2025.12.1

発行 | ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
後援会
編集 | 推進委員会



闇の中の光

日本ルーテル教団
新潟のぞみルーテルキリスト教会 牧師 宮澤 重徳

新型コロナウィルス感染拡大以来、キリスト教会は、苦難に見舞われているように感じます。加えて、少子高齢化は、それに拍車をかけています。教会だけではありません。私たちが支えているルーテル学院大学、日本ルーテル神学校も例外ではないでしょう。私たちは暗闇の中で、出口を模索していると言つていいかもしれません。

けれども、このクリスマスの季節、福音書記者ヨハネは証ししています。「光は暗闇の中で輝いている。」(ヨハネ1章5節) 父なる神さまは、約2,000年前にこの世の罪の闇の中に、光なる御子イエスさまを送ってくださいました。その光は、様々な苦難の時を

超えて、今も輝いています。私は教会が困難な状況に陥ると、迫害の歴史を思い出します。例えば、皇帝クラウディウス(位41-54)、皇帝ネロ(位54-68)、皇帝ドミティアヌス(位81-96)など、激しい迫害がありました(「キリスト教大辞典 改定新版」教文館発行参照)。日本でも、徳川幕府、戦時中の軍事国家による迫害がありました。迫害者たちは、教会を滅ぼそうとし、たくさんのクリスチヤンを殺しました。けれども教会は耐え忍び、迫害後、ますます広がっていました。それは神さまが支えてくださったからだと信じています。どんなに闇が深くても、神さまは闇の中にイエスさま

の光を、希望の光を輝かせてくださるのであります。今、私たちの愛するルーテル学院大学、日本ルーテル神学校は、暗闇の中で苦しんでいるのかもしれません。けれど、神さまは闇に光を輝かせてくださいます。建学の精神の光が消えることはありません。必ず、新たな展開が待っています。ただし、私たちの願うような形ではないかもしれません。御心にかなった改善が必要かもしれません。改革が必要かもしれません。それを踏まえたうえで、「闇の中で輝く光」を信じて、これからもルーテル学院大学、日本ルーテル神学校と共に支えていきたいものです。



地区だより 全国各地でルーテル学院を支えるための活動をしてくださっています

9月6日(土) 北部九州地区

献身者を送り出す祈りのつどい

地区世話人代表 徳永 武雄
山口 邦久

9月6日、博多教会においてルーテル学院大学石居基夫学長及び後援会山根洋子会長をお迎えし、7教会36名の参加がありました。

まず、石居先生からルーテル学院大学について、財政が厳しいが最後まで学生の学びを保障し社会に送り出していく。神学校は、教会と協働した新しいカリキュラムを構想中などの報告がありました。山根会長から各個教会の厳しい財政状況の中でのご支援に感謝、活動内容をよく伝えていくことが大切とのお話がありました。質疑応答では、他教派

の神学校との連携を進めている。教会、牧師の減少下、教会の連合、リモートの活用など新しい方法を考え、信徒と牧師が協力して対応することが大切などの示唆がありました。

情報交換の中で、4月着任の大和友子牧師(久留米、二日市、田主丸教会)と崔大凡牧師(箱崎、聖ペテロ教会)から自己紹介と近況報告を頂き、最後に感謝の祈りと教会賛美歌285番「シオンよ、いそぎつたえよ」を賛美して閉会しました。



10月19日(土)

東静駿遠地区世話人会

地区世話人代表 芳賀 美江

10月19日に東静・駿遠地区の世話人会が静岡教会で行われました。

午前中は清水・静岡・小鹿3教会合同の神学校日礼拝、午後は石居学長の講演会、その後の世話人会には牧師3名、各教会の世話人5名が参加されました。

石居学長からは学生の募集停止に伴い、学生1人でも開講する授業のこと、神学校は1年生にルーテル学院大学の卒業生が入学し、2年生には1名(いずれも日本福音ルーテル教会)、3年生に日本ルーテル教団の学生が2名在籍しているとのことです。神学

校では専任教員が2名となり、授業のあり方を検討しているとの話がありました。

菊池後援会副会長からは大学は国の補助金がなくなり厳しい状況になっていること、大学、神学校について関心を呼び起こして一緒に支えていく必要だと話されました。

意見交換では各教会はどこも高齢化により礼拝出席者が減少しており、牧師も2つの教会を兼任しているので、これからは信徒礼拝も考慮する必要があるとの意見がありました。



2025年度 新しい地区世話人代表と推進委員

後援会では全国のルーテル教会から選出された「教会世話人」に教会とルーテル学院との架け橋になっていただいている。 「地区世話人代表」は各地区的教会世話人の、「推進委員」は首都圏の教会世話人のリーダーとして後援会の中心的役割を果たしています。



地区世話人代表
秋田 義彦
(J大垣教会)

名古屋めぐみ教会の太田さんから尾張・岐阜地区世話人代表のお役目を引継ぎました。

ルーテル学院大学・大学院の学生募集が停止されても学生はいるわけですので、献金が必要になります。また、牧師を送り続ける必要があると思います。

何ができるかわかりませんが、頑張ります。



推進委員
藤木 智広
(N六本木ルーテル教会)

ルーテル学院大学の卒業生として、大學が閉校することをとても残念に思っていますが、神様を愛し、人を大切にするルーテル学院の心は様々な場で一人ひとりの中にいつまでも残り続けると信じています。このルーテル学院の心を形にしていくために、微力ながらも職務に務めてまいりたいと思います。



推進委員
後藤 礼子
(N東京ルーテルセンター教会)

後援会世話人及び推進委員のお役目は決して一人ではできないことを実感する日々です。後援会・推進委員・関係者の皆様に、そして何より教会の信徒の皆さんに支えられ、今の私があります。皆さんのお支えと繋がりに感謝し「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣く」その言葉と共に寄り添ってまいります。



推進委員
逢坂 敏秋
(N大宮シオン・ルーテル教会)

教会歴は13年余りと浅いですが、昨年のルーテル祭を含め一日神学校には度々参加し、皆さんと一緒に楽しめていました。本年度から新入生を迎える年になり、後援会は厳しい時代に直面することになります。このような時こそ祈りを合わせ、各教会と一緒に活動していかなければと思います。

後援会のキャッチフレーズができました

「あなたの祈りを届けよう」



12月のご送金はお早めに

2025年度 募金目標額 2,000万円

- 2025年12月27日より2026年1月5日まで年末年始休業とさせていただきます。
- 郵便局からのご送金は、事務局に控が届くまで最短で4日かかります。